

定例記者会見資料



○日 時	令和元年 11 月 14 日（木） 13 時 30 分～
○会 場	島根県立大学 本部棟 2 階 特別応接室
○会見者	清原正義 理事長・学長
○会見項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 17 回西周シンポジウムの開催について〔資料 1〕 学生によるファミリー・サポート・センター調査結果報告について〔資料 2〕 フレッシュマン・フィールドセミナーにおけるブラインドサッカー体験について〔資料 3〕
○資料提供項目	<p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間文化学部地域文化学科 客員教授講演会について 講師：映画監督・脚本家 錦織 良成（にしこおり よしなり）氏 演題：「先入観との戦い」 ― 島根だからこそ解ること、学べること―〔資料 4〕
○行事予定	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 島根県立大学総合政策学会特別講演会 演題：「国際協力の現場から日本が見える ―開発と平和の問題をめぐって―」 講師：谷山博史（たにやま ひろし）氏 （日本国際ボランティアセンター（JVC）理事） …11 月 29 日（金） 14：50～16：20 @浜田キャンパス講堂〔資料 5〕 令和元年度北東アジア地域研究センター市民研究員第 2 回研究会 …11 月 23 日（土・祝） 13：00～16：00 @浜田キャンパス講義研究棟 中講義室 3 <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 護身術セミナー 講師：出雲警察署生活安全課 かわと交番 対象：看護栄養学部 1 年生 約 120 名 …11 月 20 日（水） 13：00～14：00 @出雲キャンパス体育館〔資料 6〕

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス	企画調整室	TEL	0855-24-2201
出雲キャンパス	管理課	TEL	0853-20-0200
松江キャンパス	管理課	TEL	0852-26-5525

鳥根県立大学
マスコット
キャラクター
オロリン



※次回の定例記者会見は 令和元年12月12日(木) 13:30 から開催予定です。

令和元年 11 月 14 日
島根県立大学 浜田キャンパス
担当：企画調整室 武田
電話：0855-24-2201

第 17 回 西周シンポジウムの開催について 「西周と明六社」

西周（1829-1897）は津和野藩医の家に生まれ、オランダに留学したのち、江戸時代末から明治にかけて西洋学術を導入し、日本の学問、文化の革新のために大いに力を尽くした思想家です。

「島根県立大学 西周研究会」は平成 14 年の設立からこれまで、地元津和野町の皆さまとともに、西周の思想と業績を学びつつ、毎年シンポジウムを開催してきました。

今年「西周と明六社」をテーマに下記のとおり開催します。

記

1. 日 時

令和元年 11 月 30 日（土） 13:30～16:20

2. 会 場

津和野町立森鷗外記念館 2 階会議室（島根県鹿足郡津和野町町田イ 2 3 8）

3. 共 催

島根県立大学・津和野町

4. 内 容（予定）

①講演 「最重要人物としての西周 ―明六社における討論の模索―

専修大学 教授 菅原 光 氏

②第 2 回西周賞授賞式

・審査講評 東京大学名誉教授／印刷博物館 館長 樺山 紘一 氏

・受賞者記念スピーチ 堤田 泰成 氏（上智大学大学院 文学研究科哲学専攻）

5. 参加方法

申込み不要。どなたでも参加いただけます。

第17回

西周

シンポジウム

主催：島根県立大学

津和野町



咸臨丸難航図(横浜開港資料館所蔵)

テーマ

〔西周と明六社〕

プログラム

〈講演〉

・菅原光[専修大学教授]

「最重要人物としての西周——明六社における討論の模索」

〈第2回西周賞授賞式〉

・受賞者：堤田泰成[上智大学大学院文学研究科哲学専攻]

「明治大正期におけるショーペンハウアー哲学受容と
翻訳の問題について

——西周『百学連環』から現在までの軌跡とともに」

・審査委員長講評 印刷博物館 館長 樺山紘一

・受賞者記念スピーチ

※※

入場無料／申込不要

会場

津和野町立森鷗外記念館

2階会議室

(津和野町町田イ238)

日時

令和元年11月30日(土)

13時30分～16時20分

◎お問い合わせ：島根県立大学企画調整室 ☎ 0855-24-2201

津和野町教育委員会(郷土館) ☎ 0856-72-0300

令和元年 11 月 14 日
島根県立大学 総合政策学部
准教授 齋藤暁子
TEL : (0855)24-2230
E-mail : a-saito@u-shimane.ac.jp

【資料 2】

学生によるファミリー・サポート・センター調査結果報告について

総合政策学部 齋藤暁子研究室 4 年 梶瑞希（かじみずき）さんは、地域の子育て支援に関心を持ち、自身も積極的にボランティア活動に参加しながら、中山間地域の重要な福祉サービスであるファミリー・サポート・センターを対象に卒業研究に取り組んでまいりました。

このたび、梶さんの実施した浜田市で初めてとなる約 600 名のファミリー・サポート・センター会員全員を対象とした調査の結果がまとまりました。調査にご協力いただいた会員のみなさまにお伝えするために、下記のとおりファミリー・サポート・センター交流会で調査結果の報告をいたします。

記

1. 日 時 : 2019 年 12 月 10 日 (火) 14 時 30 分～15 時 00 分
「ファミリー・サポート・センター交流会」(13 時 30 分～15 時開催) 内の
茶話会にて報告
※13 時 30 分～14 時 30 分は平川和代氏によるヨガ&ピラティス講座
(梶、齋藤の 2 名も参加)
2. 内 容 : ファミリー・サポート・センター会員全数調査の結果報告
(パワーポイントによる調査結果の報告)
3. 報告者 : 島根県立大学総合政策学部 4 年 梶瑞希 (かじみずき)
(指導教員 : 准教授 齋藤暁子)
4. 参加者 : 交流会に参加されるファミリー・サポート・センター会員のみなさま
子育て支援センター職員のみなさま
4. 場 所 : 子育て支援センター すくすく
(〒697-0021 島根県浜田市松原町 235-1)

以上

フレッシュマン・フィールド・セミナーにおける ブラインドサッカー体験について

1. 目的・理由

本学で1年生全員を対象に開講されているフレッシュマン・フィールド・セミナーでは、ゼミごとに地域社会の「現場」を知るための取り組みを行っています。川中淳子ゼミでは、視覚障がいの理解と支援の実際を知るために、島根県西部視聴覚障害者情報センターのご協力を得て体験的な学習を行っています。その取り組みの一つとして、浜田市消防本部の消防士で視覚に障がいのある拝上誠（はいがみまこと）氏のご指導の下、ブラインドサッカー体験を実施します。

2. 日時

令和元年 12 月 5 日（木）13 時 10 分から 14 時 40 分（3 限目）

3. 会場

島根県立大学浜田キャンパス 体育館（島根県浜田市野原町 2433-2）

4. 内容

視覚障がいの理解と支援を学ぶために、ブラインドサッカー体験を行います。

5. 出席者・参加人数

講師：浜田市消防本部消防士 拝上誠（はいがみまこと）氏 ほか 6 名
島根県西部視聴覚障害者情報センター 柳井喜代臣（やないきよみ）氏
受講生：島根県立大学 1 年生 16 名
スチューデントアシスタント（学生による補助スタッフ） 2 名
担当：島根県立大学総合政策学部教授 川中淳子（かわなかじゅんこ）

6. 本ゼミナールの活動内容

視覚障がいに対する理解を深め、障がいを持つ方々を取り巻く社会の問題について考察することに主眼を置いています。これまでに、アイマスクや弱視体験レンズをつけて移動や飲食の体験をとおして、当事者の体験や思いに近づく努力をしてきました。これからも、ブラインドサッカーをはじめ、様々な体験的な学習を行います。学生たちには、得られた学びからより良い社会のために必要なことを発信させる予定です。

ゼミ活動の様子



講師の皆様の練習の様子



「先入観との戦い」

— 島根だからこそ解ること、学べること —

講師：映画監督・脚本家 錦織 良成 氏

【講師からのメッセージ】

映画の仕事は、一般的な仕事と違うのでは、と思う皆さんもいるかもしれません。しかし映画ほど人々の日常と密接なものはありません。映画は森羅万象、あらゆることが題材にできます。役割も多岐に渡ります。実は、日本の映画界は世界から見たら特殊で、ガラパゴス状態ともいえます。一般的には、私が島根を舞台にした映画を撮っているのは出身だから、と思われがちです。間違っははませんが、一番の理由ではありません。もちろん観光促進のためでもありません。世間はそういった枠にはめようとしています。その方が解りやすいと思うからでしょうが、それが落とし穴。逆に本質は解りにくくなってしまいます。中米ハイチでのロケで島根を思い出し、以来いかにこれまで物事を先入観で見えてきたのか、思い込みで判断してきてしまったのか思い知らされながら映画作りをしてきたことなど、話したいと思っています。



11月末から公開の最新作「高津川」は現時点での思いを集約して撮りました。関東キー局の報道番組の中枢に携わる友人たちが試写を観てくれましたが、映画「高津川」は今の時代、随分尖がった作品、という声が上がりました。号泣するマスコミのエリートたちの姿を目の当たりにし、益々多くの世代に、この思いを伝えなければと思います。講義の日までに観る事が出来る人は是非映画館で観ておいてくれると嬉しいです。話しが理解しやすいかと思えます。12月4日、講義に参ります。皆さんにお会いするのを楽しみにしています。

【講師紹介】

島根県出雲市出身。原作物の映画化が多い中、オリジナルの企画・脚本にこだわる数少ない映画監督の一人で、何気ない日常を捉える描写力と柔らかな映像センスに定評がある。初めて故郷を舞台にした2002年公開の『白い船』以来、「究極のローカルはグローバルになりうる」という揺るぎない熱い思いを持って島根を舞台にした映画制作に取り組み、全国・世界に向けて発信している。

日時

令和元年 12月4日（水） 10:40~12:10

場所

島根県立大学松江キャンパス 大講義室

お問い合わせ

0852-26-5525（代表）

★入場無料・事前申し込み不要ですが、学生のための講演につき、学生優先でのご入場となります。ことを予めご了承ください。

島根県立大学総合政策学会 第 37 回 特別講演会

講師

日本国際ボランティアセンター(JVC)理事

谷山 博史 氏



演題

「国際協力の現場から日本が見える —開発と平和の問題をめぐって—」

日時：2019年11月29日（金）

14時50分から16時20分まで

会場：島根県立大学浜田キャンパス 講堂

【講師プロフィール】

日本国際ボランティアセンター（JVC）理事、国際協力 NGO センター（JANIC）アドバイザー、NGO 非戦ネットワーク呼びかけ人、市民社会スペース NGO アクションネットワーク（NANCI S）コーディネーター、JIM-Net 顧問、聖心女子大学客員研究員。

1958 年東京生まれ。中央大学大学院法律研究科博士課程前期修了。在学中から JVC にボランティアとして参加。1986 年から JVC のスタッフとして、タイ・カンボジア国境の難民キャンプで活動。その後タイ、ラオス、カンボジアの駐在を経て、94 年から 8 年間事務局長を務める。2002 年から 2006 年まで JVC アフガニスタン代表。2006 年 11 月より 2018 年 6 月まで JVC 代表理事。2015 年 6 月より 2019 年 6 月まで国際協力 NGO センター（JANIC）理事長。イラク戦争の検証を求めるネットワーク呼びかけ人、戦争をさせない 1000 人委員会呼びかけ人、NGO 非戦ネットワーク発起人・運営委員、市民社会スペース NGO アクションネットワーク（NANCI S）コーディネーター共同代表を務めるなど多数のネットワーク組織の設立と運営に関わる。

著書（共著）に、『NGO の選択』、『NGO の源流』（めこん）、『福島と生きる』（新評論）、「『積極的平和主義』は紛争地に何をもちたらずか?!」（編著、合同出版）、「非戦・対話・NGO：国境を越え、世代を受け継ぐ私たちの歩み」（編著、新評論）など多数。

※入場無料・事前申込不要です。多くの皆様のご来学をお待ちしております。

問い合わせ先：〒697-0016 浜田市野原町 2433-2 TEL:0855-24-2201

島根県立大学 事務局企画調整室

令和元年11月14日
島根県立大学出雲キャンパス
担当者：澤田仁美・坂田栄一郎
電 話：0853-20-0206

護身術セミナーについて

1. 目的

本学では、防犯対策として、毎年新入生オリエンテーション時に出雲警察署、かわと交番の方にお越しいただき、防犯の講演を実施しています。大学周辺地域においては、過去に不審者出没事例などもあり、学生自身が自衛の自覚と心構えを持つこと目的に例年実施しています。

2. 日時

令和元年 11 月 20 日（水）午後 13 時 00 分 ～ 午後 14 時 00 分

3. 場所

島根県立大学出雲キャンパス 体育館
(出雲市西林木町 1 5 1 番地)

4. 企画者

島根県立大学出雲キャンパス 学生生活委員会

5. 講師

出雲警察署生活安全課、かわと交番

6. 対象者

看護栄養学部 1 年次生 約 120 名（看護学科 80 名、健康栄養学科 40 名）

自分の身は自分で守る！

運動の
できる服装
(室内用運動靴)



学生のための

痴漢や暴行、通り魔などの犯罪が絶えない現代。
「夜道で怖い思いをしたくない！」
「誰も助けてくれないかもしれないから」
そんな悩みはもううんざり。
自分で防衛技術を学び、安心した生活を！

護身術セミナー

2019.

11.20

Wed

時間

13:00～14:00

場所

島根県立大学
出雲キャンパス体育館

護身術セミナーについて
副学長 石橋照子

島根県は治安がよいと言われていますが
油断は禁物です。
イザというとき、自分で身を守るように
「覚えて損なし 護身術」です！

講師

出雲署生活安全課
かわと交番
署員の皆さん

出雲署生活安全課・かわと交番の柔道有段者をはじめとしてこの方面にご経験の深い方が優しく教えてくださいます。

